

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 474 事業名 業務指導事務

【事業基本情報】

事業区分(1)	事業経費 その他	管理経費	○
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		卸売市場
	款		卸売市場費
	項		卸売市場費
	目		卸売市場費
	大事業		卸売市場事業
事項		業務指導事務	

分野別目標	3	市民と地域がつくる元気なまち
政策	1	地域産業の振興
施策	2	商工業の振興
取組	3	卸売市場の機能向上

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間		～	
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	中央卸売市場	坂口 昌隆 (431-3161)	
関連課			

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず	○
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実			
市民の健康環境の充実		道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実			
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実			
その他		その他		その他			

1 事業概要及び実施内容

事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か	事業内容				
消費者の食の安全・安心に対する関心が高まる中、生産者・消費者双方から求められている品質管理面の向上、また消費者の多種多様なニーズに対応するため集荷力の向上を目的とする。	○業務の申請・許可 販売取引に関する申請・許可 （相対取引承認申請・仲卸業者以外の者に対する卸売許可申請及び許可等） 手順 関係業者からの申請書提出⇒申請書類審査（指導）⇒申請業者への許可書等の交付 セリ人の登録申請（新規）更新の試験及び研修の実施 ○市場業者の経営改善 公認会計士との業務委託により卸売会社3社、仲卸業者10者を対象に毎年実施 ○市場情報の提供 市場内情報管理システムを活用し、日々の取引状況を新聞社5社に情報提供				
実施内容	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	業務の申請・許可 市場業者の経営改善 市場情報の提供	業務の申請・許可 市場業者の経営改善 市場情報の提供	業務の申請・許可 市場業者の経営改善 市場情報の提供 経営展望書策定	業務の申請・許可 市場業者の経営改善 市場情報の提供 行動計画書策定	

2 事業コスト

事業費 千円	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	4,620	3,899	4,359	4,230	5,738	5,461	5,591		未定	
	伸び率 (%)	-	-	-5.6%		31.6%		-2.6%			
	人件費	常勤職員	38,972	36,496	32,352	31,675	32,319	31,637	31,637		
		非常勤職員	3,036	3,036	3,188	3,188	3,532	3,532	4,238		
	小計	42,008	39,532	35,540	34,863	35,851	35,169	35,875			
	国庫支出金						724				
	県支出金										
	市債										
その他	4,620	3,899	4,359	4,230	5,738	4,737	5,591				
一般財源（税等）											
所要人数	常勤職員	5.09	4.76	4.22	4.19	4.28	4.19	4.19			
	非常勤職員	1.48	1.48	1.55	1.55	1.4	1.68	1.68			

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	業務検査及び財務検査件数				年度目標値	16	16	16	16
					実績値	16	16	16	
	単位	件	全体目標値	16	全体目標達成度	100.0%	100.0%	100.0%	
					年度別達成度				
成果指標	青果取扱量				年度目標値	80000	80000	80000	80000
					実績値	77946	73679	75368	
	単位	トン	全体目標値	80000	全体目標達成度	97.4%	92.1%	94.3%	
	水産取扱量				年度目標値	26000	27000	28000	29000
					実績値	23008	22274	20607	30000
単位	トン	全体目標値	26000	全体目標達成度	88.5%	82.5%	73.6%		

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載) B 1
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	中央卸売市場が開設以来38年を経過するなかで、市場を取り巻く流通環境が大きく変化し、青果の取扱量は横ばい、水産の取扱量は減少している。今後の本市場全体の体質強化を図る。
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	平成23年度に、国の補助を受け開設者と関係業者が一体となり市場を取り巻く現状と課題を再確認し、今後の施設整備を含めた「経営展望書」を策定しました。(中央卸売市場経営展望策定事業) さらに、本年度は23年度に策定した経営展望書で再確認した課題の克服にむけて、「行動計画書」を策定し市場の体質強化、施設整備に等に繋げて行く。(戦略的行動計画策定事業)